

# Support



令和7年2月18日

編集・発行

学校支援課 広報担当

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

## Report -R6 キャリア教育研修 - 子ども主体でなりたい自分を描くキャリア教育

学校支援課では、例年「キャリア教育研修」を行っています。今年度は、キャリア教育担当者を対象に、7月31日(水)に東区プラザで行いました。

第一部では、キャリア教育の考え方を先生方と共有し、キャリアノート、キャリア・パスポート、キャリア・カウンセリングの運用について、例を示しながらお話をしました。また、令和5年2月発出の資料を参考に、時系列での運用例や、カスタマイズの具体例を確認しました。(スライドは、当日資料の一部です)

### ーキャリア教育の視点から学校の教育活動を振り返るー

キャリア教育は、学校の教育活動全体を通して行います。

今まで行ってきた様々な活動に「宝(=キャリア教育の断片)」はたくさんありますし、それは「〇〇教育」の「宝」でもあります。今既にあるものを活用するという視点でとらえ直しましょう。既に行っている教育活動をキャリア教育の視点から(=基礎的・汎用的能力を構成する4つの能力のフィルターを通して)振り返ってみると、意外なほど多く、「キャリア教育」に取り組んでいることがわかるはずです。



新潟市版「キャリア・パスポート」  
指導上の留意事項 (R5.2.2通知) 補足資料

キャリア・パスポートの運用 (テンプレートの場合) 年度始め 年度中 年度末

(例) 行事予定表に「キャリア・パスポート」の運用 (テンプレートの場合) 年度始め 年度中 年度末

取り組みの振り返りと改善点を記録する。

この一年で取り組んできた体験活動や学校行事の中で一番心に残っていることを振り返り、記録する。

キャリア・ノートを参考に、

第二部では、株式会社 子どもの笑顔 代表取締役 岩堀 美雪様を講師に迎え、「子どもの自己実現を支えるもの ~自己肯定感を育み、夢に向かって生きる子に~」と題した研修講座を行いました。講演やグループワークによる交流を通じて、参加者の皆さんが実際に体験しながら、具体的な実践について考える貴重な機会となりました。(スライドは、当日資料の一部です)

\* 研修資料格納場所【C4th書庫→08学校支援課→キャリア教育→R6キャリア教育研修スライド資料】

#### 背景：自己肯定感と若者の将来

自己肯定感は子どもたちの将来の幸せに大きな影響を与えます。

自己肯定感が低い子どもは、大人になると

- 学力や経済力が低い、
- 身体が不健康
- 有罪判決を受けやすい

うつ病や不安症になりやすい

(Trzesniewski et al., 2006年)

#### 自己実現のためには

将来の夢や目標やどんな仕事に就きたいかを考えることも必要。しかし、さらに大切なのは、



心の健康の核となる自己肯定感を育み、生き生きと楽しく学校生活を送るための教育です。

### 参加者の感想 (事後アンケートより)

- ◆自己肯定感を高めることが、子どもの学力や人生に関わることがわかりました。(小学校)
- ◆キャリア・パスポートを子どもの自己肯定感を高めるツールとして活用できるよう、キャリア・パスポートの作成時の声かけや、関わりを工夫していきたいと思いました。(小学校)
- ◆まずは自己肯定感を高める取組や指導が、子どもたちが夢をもって主体的に生きる力を培う原点だと感じた。その取り組みは、日常的に積み重ねていくことで実りあるものになる。(小学校)
- ◆全ての教育活動にキャリア教育が関わっていることが改めて分かり意識して取り組むことが大切だと感じた。(中学校)
- ◆キャリア教育では総合がメインになっていますが、総合以外の部分にも力を入れられたらと思いました。総合で行なっているキャリア教育の内容では主に将来の生き方に焦点が当てられていますが、研修を通して、土台となる自己肯定感を高めることもとても大切だと感じました。今後その部分にも力を入れていきたいと思いました。(中学校)

自己肯定感を  
全教育活動を通して培う

# 「情報活用能力」育成できていますか!?

「情報活用能力」は、学習の基盤となる資質・能力の1つです。  
意図的・意識的に情報活用能力を育てていきましょう!



「情報活用能力」を6つの力に整理しています。



## 情報活用能力を育成するための教材の例の紹介

### GIGAワークブックにいがた



この教材は、  
①小・低学年向け  
②小・中高学年向け  
③中高生向け  
に分かれています。

さらにこの教材は、以下の3つに分類されています。



情報活用能力の「問題を解決する力 探究する力」を付けたい場合は**活用スキル**のマークの教材を選んでください。

ロイロノート版は資料箱の格納されています。



L-gateからアクセスすることもできます。



### ふむスタ



L-gateの教材・アプリ内からアクセスできます。

ログインID・パスワードは新潟日報社から学校代表メールに送信されています。

ふむスタでは、平日に1日5本、新潟日報の最新記事から選んだ話題・ニュースが配信されます。「クミハン」という機能では、本格的な新聞が簡単に作れます。「しらべてみよう」では、キーワードから新潟日報の過去の記事を検索できるデータベースが搭載されています。



定期的に「ふむスタ通信」が発行されています。活用例が載っていますので参考にしてください。

## 情報活用能力の系統性について

「新潟市情報活用能力体系表」～新潟市の子どものために  
※ ○:指導事項 \* :例示 ( ):行為 P:国語科教科書の関連ページ番号(国語科以外)  
※ 中学校教科書の掲載ページは教科書見本を参考にしたものであり、供給教科書では内容やページ番号が異なる場合があります。

	小学1年生(1年生)	小学2年生(2年生)	小学3年生(3年生)
新潟市が目指す子どもの姿	○本の借り方・返し方を知る 生上P11, 13, 22, 23 * 場所・致謝・展示 ○マナーや学校司書の存在を知る * 本棚の整理・清掃	○学校司書に相談する 生下P60～65 ○好きな人物が登場する本を紹介する 下P66, 67	○検索機で本を検索する 上P30 ○百科事典や図鑑を使う 上P30 * 目次・索引 ○コンピュータの活用

情報活用能力の体系表がc4thの書庫に格納されています。教科書で取り扱う各学年の情報活用能力や図書館の利用についてを体系的に確認することができます。ご活用ください。



## プログラミングの能力



新潟市はプログラミングの能力の育成のために、教材として小学校では「micro:bit」、中学校では「micro:bit」と「Life is Tech」を導入しています。

小学校6年生理科「電気と私たちの生活」の学習や中学校技術「計測・制御による問題解決」「双方向性のあるコンテンツによる問題解決」、総合的な学習の時間で利用してください。



micro:bitを使って試行錯誤することで、プログラミング的思考を学んでいます。



Life is Techを使い、双方向性のあるプログラミングをストーリーを通して学んでいます。

## 操作する技能



令和9年度から小学校・中学校ともに全国学力・学習状況調査がCBT（Computer Based Testing）に全面移行します。タッチキーボードや手書き入力に比べ、ハードウェアキーボードは長文入力に適しています。そのため、ハードウェアキーボードを使用して入力する機会を意図的に設けましょう。



タイピングのサイト（L-gate内にあるプレイグラムタイピング）を使って、楽しみながらタイピングスキルを向上させています。



ロイノートを含む複数のアプリを自分で選択し、活用しながら、学習を進めています。

【1分あたりの文字入力数の目安】

小[低 簡単な文 中 20字以上 高 40字以上]  
中学校[50字以上] 高等学校[60字以上]

## 情報モラル・デジタルシティズンシップ



### 情報モラル・デジタルシティズンシップとは、

インターネットやICTを安全かつ責任をもって使用するためのルールや倫理について学びます。個人情報の保護、著作権の順守、ネットいじめの防止などが含まれます。

難しく感じるかもしれませんが、情報活用能力を育成していくうえで必ず学ばなければならないものです。学校支援課から提案している実践を紹介します！

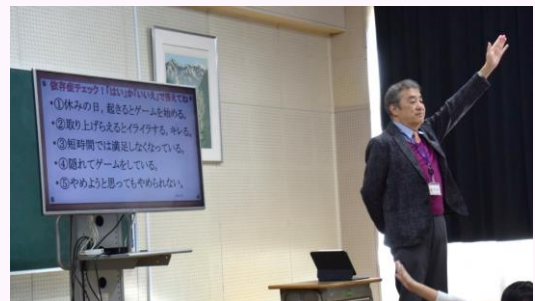
### (1) GIGAワークブックにいがた



このマークは情報モラル・デジタルシティズンシップを学ぶことができます。

### (2) 情報モラル講演会の実施

各校からの要請に応じて、学校支援課生徒指導班のSSTが出前授業を行っています。ご依頼ください。



インターネットの「楽しさ」や「利便さ」だけでなく、その裏に棲む「怖さ」についても伝えます。

写真を公開する前に

1 あなたなら、どの写真をネットに公開したいと思いますか。公開しても問題がないと思う順に上から並べてみましょう。

1 キーボード  
2 バスに乗った時  
3 家で家族で食事の時  
4 いつもある風景(桜など)  
5 たかしといっしょ

問題なし ← → 問題あり

2 どのようなことに気がきましたか。

「いやだな」と感じることを

## 基礎学力の定着×個別最適＝自立した学習者

新潟市ではBenesseのドリルパークを採用し、個々に合ったレベルやペースで、知識の確かな定着や個人で主体的に学ぶ意欲を支援する環境を整えています。



## 知識の定着や理解を深める設計となっています

- 理解度に合わせてAIが出題**
- 1問ごとに即時正誤判定・解説**
- 間違えた問題だけ解き直し**
- 漢字の書き取りは手書きで**
- 記述問題にも対応**
- 途中式やメモも紙のように書ける**

GIGA端末が導入されたときは使っていたけど、使わなくなりました…

▼先生トップ画面イメージ



**2025年春に大幅アップデートされます。**

問題数が大幅に増え、中学校向けには定期テスト対策や英語AIドリルなどが追加されます。また、トップページの表示が変わり、使いやすくなります。まずは、使ってみてください。

[https://bso.benesse.ne.jp/miraised/fansite/info/mpu\\_250117.html](https://bso.benesse.ne.jp/miraised/fansite/info/mpu_250117.html)

どのように使えばよいか分からない…

使用方法等で困っていることがあれば、**ICT支援員にご相談ください！**活用方法の研修も行うことができます。また、BenesseにWebサイトに研修動画もあります。

[https://bso.benesse.ne.jp/miraised/fansite/info/mpu\\_250117.html](https://bso.benesse.ne.jp/miraised/fansite/info/mpu_250117.html)

ログイン画面に新しく追加されたテストパークは、どのように使いますか？

「**テストパーク**」はデジタルテストです。教科書対応の単元確認テストを行うことができます。自動採点なので、採点の必要はありません。テスト実施後、すぐに返却をして振り返りすることもできます。これらは、先生方の負担軽減につながります。

先生が配信をすることで児童生徒はテストを実施することができます。まずは、児童生徒のプレテストとしてお試しいただくのがよいと思います。ぜひ使ってみてください。

**個別最適化された問題によって主体的な学習を促し、  
基礎学力の定着を目指しましょう！**